

リニア新幹線沿線信用金庫共同調査

リニア中央新幹線に関するアンケート調査結果概要(4)

～ リニア駅関連整備と地域で取り組むべきこと ～

リニア沿線信用金庫（山梨県：甲府・山梨信金、岐阜県：東濃信金及び当金庫）共同調査の当県・地域分調査結果の続きを紹介する。

1. リニア駅に併せて整備すべきことは ～ 駅関連施設に幅広い要望 ～

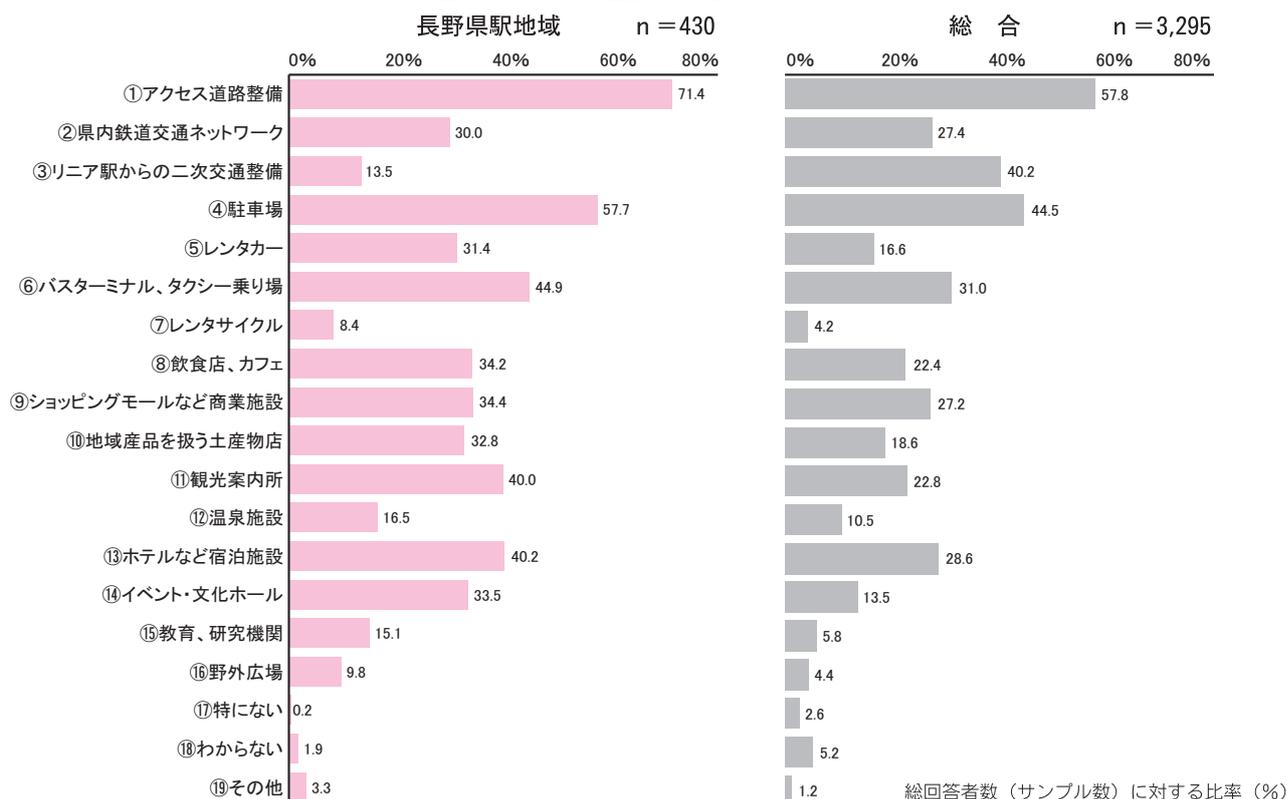
「リニア新幹線開業に向け自県駅に併せて整備することが望ましいもの」を訊いた。下グラフ左右は、回答の各項目について総回答者（回収数）に対する比率で表わした。長野県駅地域（グラフ左）と中間駅地域全体（右グラフ）を同スケールで表わしたが、各項目とも総合を上回っている項目が多いことが判る。

当地域では、「①アクセス道路整備」は回答者の71%が必要としており、「④駐車場」「⑥バスターミナル・タクシー乗り場」「⑤レンタカー」などの交通インフラ関連項目が続いている。自動車交通系への注目度・期待度が高いといえる。「②県内鉄道交通ネットワーク」も30%ある。

その他、「⑧喫茶店・カフェ」「⑨ショッピングモールなど商業施設」「⑩土産物店」「⑪観光案内所」「⑬ホテルなど宿泊施設」がほぼ同水準で並んでいることが当地域の特徴といえる。飯田市が進めているリニア駅周辺整備事業における魅力発信施設に関する事項として「⑧喫茶店・カフェ」「⑩土産物店」「⑪観光案内所」などがあり、「駅周辺整備地区の周辺地区」辺りを想定して、「⑨ショッピングモールなど商業施設」「⑬ホテルなど宿泊」が想定され回答されているものと思われる。

また、この間論議されている、当地域における「アリーナ機能を中心とした複合施設」等を踏まえてか「⑭イベント・文化ホール」も他地域と比べ要望が多い。「⑮教育、研究機関」については、当金庫第一次リニア調査アンケートにおいても要望の多かったことを付しておきたい。

Q：「新幹線開業に向け自県駅に併せて整備することが望ましいもの」



2. リニアを見据えて当地域で取り組むこと ～幅広い項目を選択～

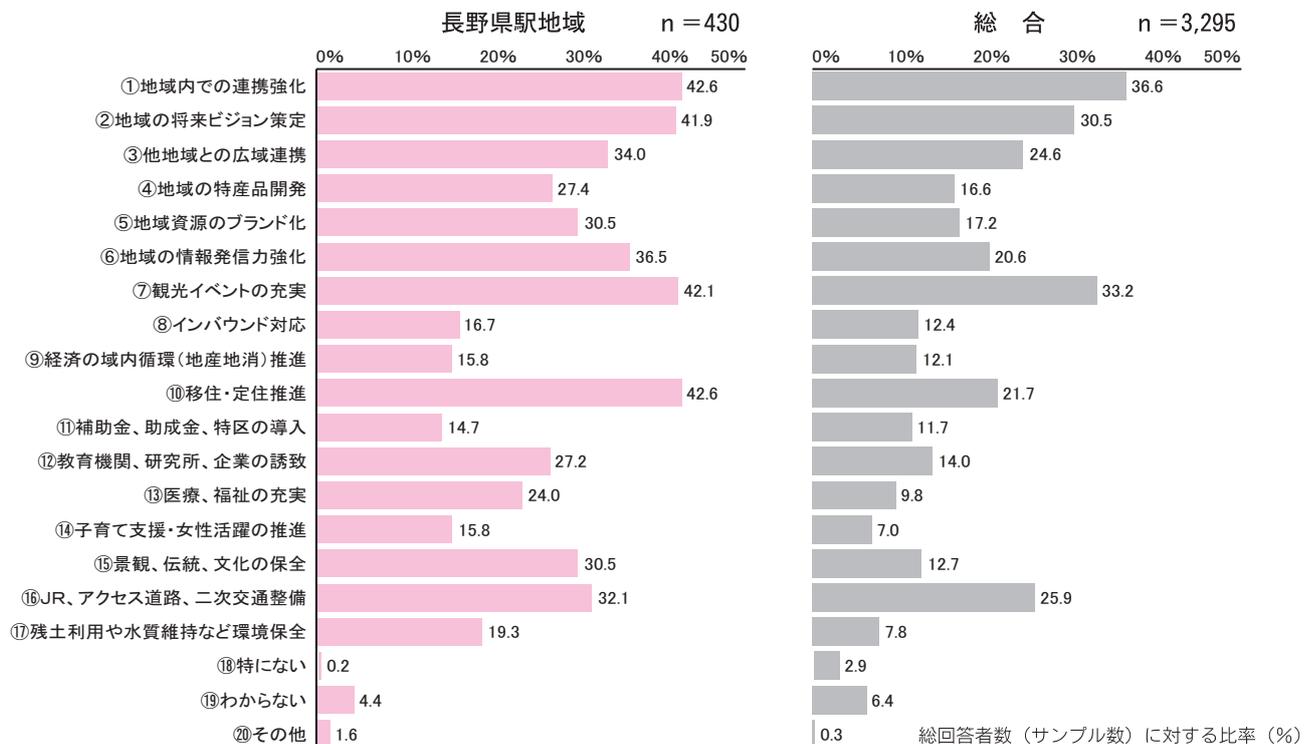
「リニア中央新幹線開通を見据えて地域で取り組むことは」の問い（本頁下左右グラフ）について、当地域は各項目全般に中間駅地域総合より高い比率となっていて、当地域の回答者様が満遍なく取り上げられている感もある。「①地域内での連携強化」「⑦観光イベントの充実」「⑩移住定住の促進」「②地域の将来ビジョン策定」が4割超ではほぼ同水準のトップ。「⑥地域の情報発信力強化」「③他地域との広域連携」「⑤JR線、アクセス道路、二次交通整備」「⑤地域資源のブランド化」と続く。全中間駅地域（総合）と比較してみると、当地域では「⑩移住・定住推進」が重要な課題としてより強く意識されているといえる。

「⑮景観、伝統、文化の保全」「⑫教育機関、研究所、企業の誘致」「⑬医療、福祉の充実」などは、リニア開通時代に向けた当地域のあり方について考えられており、「⑭子育て支援・女性活躍の推進」も同様に意識されているといえる。また「⑰残土利用や水質維持など環境保全」についても他地域を大きく上回って重要課題であると認識されている。

3. まとめ ～当地域のリニアへの関心は他地域を上回って高い～

以上、4回にわたり、リニアに関するアンケート調査当地域分の結果を紹介した。沿線地域金庫共同調査及び当地域分の正式な調査結果については後日発表させていただくが、全体を通して当地域の特徴として感じられるのは、①当地域は、他地域に比べリニア及び関連事項についての認知度、関心度が総体に高い、②リニアへの期待が他地域より高い反面、悪い影響についてもそれ以上に他地域より厳しく認識されている。つまり、リニア新幹線に浮かれることなく冷静に見極めようとする姿勢がみられる。③同様に当地域の将来・あり方についても、真剣に考えられている層が他地域より厚い、とあって良いのではないか。

Q：「リニア中央新幹線開通を見据え地域で取り組むべきことは」



（飯田信用金庫 地域サポート部 リニア対策課 加藤 修平）